

おもな記事

- 新年のあいさつ
■民秋市長 (一ページ)
- 新春座談会 (二、三ページ)
- 八名の新緑代き
まるい洛西土地
改良区緑代選挙 (四ページ)
- 快適な生活環境
づくり (五ページ)
- くらしのひろば (六ページ)



新年あけまして
おめでとう
ございます

民秋徳夫

市民本位の行政を推進

あけましておめでとうございます。
一九七六年の初春を、ご家族おそろいでお迎えにな
ったことと、心からお喜び申し上げます。

私は、清潔で明るく市民本位の自治の確立を目指し、
市民と共に人間優先と福祉の風土を育て、あくまでも
民主市政の発展を基本姿勢として、今日まで進んでま
いりました。幸いにして、市民各位の暖かいご理解と
ご協力を賜りましたことを、厚くお礼申し上げます。

ことは、私にとりまして市長就任後、最初の当初
予算を編成することになります。いま決意も新たに都
市基盤の整備、生活関連施設の充実、福祉施策の拡充
を限られた財源の中ではありますが、公約の実現につ
き意欲的に取り組んでおります。

しかしながら、地方自治体の財政危機はますます深
刻化しており、本市もその例外ではありません。昭和
五十年度は、なんとか切り抜けることはできますが、
五十一年度の歳入につきましては、引き続き税収入の
伸び悩みと地方交付税の算定額が明確でなく、増収が
見込めません。歳出につきましても、義務的な経費の
増大が予測され、財政好転の材料が見当たらないことな
どから、五十年度を上回る財源不足を生じ、大幅な赤
字が予想され、窮迫は極限に達するものと推察をせざ
るを得ないのであります。

市民四万六千の人達に、「明るく住みよい住んでよ
かった」と心から思っていただけの向日市政の初夢を
「正夢」とするために現実の経済、行財政情勢、特に
高度経済成長から、低成長時代へと移行した現状を直
視して、財源の確保に最大の努力を尽し、苦しい財政
事情のもとでも、住民サービスを低下させないよう経
費の重点的使用に創意をこらし、最少の経費で最大の
効果を図ってまいりたいと存じます。

年頭にあたり、今後とも市政に対するみなさまの一
層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げますと
ともに、みなさまのますますのご健康と、ご家庭のご
多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたしま
す。